



絆（きずな）

目指す児童像

- やさしい子
- よく考える子
- ふるさと思いの子

なわとび大会に向けて

2月9日(木)に校内なわとび大会を行います。短縄の部（持久跳び、ハイスピード跳び、技跳び）と大縄の部があります。今、学校ではなわとび大会に向けて、様々な取り組みが行われています。



左の写真は朝の会の前の廊下の様子です。1年生の子たちが練習していました。授業の合間の休み時間に、教室で練習している子たちもいます。なわとび大会の練習期間中は廊下や教室で練習してもよいことにしています。児童にはなわとびカードが配付されており、自主的に練習できるようになっています。

なわとびカードには様々な技とびがレベルにあわせて設定されており、検定を受けながらできる跳び方を増やしていきます。できる技が増え、もっとできる技を増やしたいという意欲が出てきます。大会まであと少しですが、励ましながら見守りたいと思います。



左の写真は朝の会の前の体育館の様子です。6年生が全員で持久跳びに取り組んでいました。他の児童が頑張っているのが分ると、「自分も頑張らなくては…」という気持ちになります。

このような学級ぐるみでの活動ができるのが学校のよさではないかと思います。目標を突破する子が一人現れると、それに続く子がどんどん現れる…子どもは集団の力で伸びていきます。



左の写真は2月7日(火)業間に行った大縄跳びの練習の様子です。大縄跳びは本校の特色の一つである縦割り班で活動しています。上級生がリーダーとなって、跳び方のコツを教えたり、縄に入るタイミングがつかめない子の背中をそっと押してあげたりしていました。このような励ましや支援が自然に生まれています。

限定公開のため掲

載していません

←QRコードから練習の様子が動画でご覧いただけます。